

5歳児
そら組



種類や色ごとに落ち葉が分けられていて、見ているだけで「やってみたい！」と子どもたちがわくわくしながら積極的に取り組んでいました。

子どもたちは自分のイメージを実現するためにじっくりと取り組んでいました。葉の形が浮き出るように絵具の塗り方を工夫したり、色の重なりを楽しんだりしていました。

～とくきょうすくわくプログラム～ R1.11.21

様々な素材と出会う造形活動を中心とした表現遊び



今回は、秋の自然物「落ち葉」を用いて表現活動を楽しみました。そら組は版画やオーナメント作りに取り組みました。

版画では、葉脈を出すためにはどのように落ち葉を置いたらよいかと考えたり、「こうやって並べてみるとどうなるだろう？」と落ち葉の構成を試したりする姿が見られました。また、オーナメント作りでは、紙粘土の厚さや色使いを工夫していました。

普段から落ち葉集めを楽しんでいる子どもたち。バレンや固体絵具などの新しい教材との出会いがあり、より活動への期待が高まり、繰り返し楽しんでいました。



オーナメント作り



版画

葉の並べ方や重ね方など、自分なりの表現を工夫していました。バレンで擦る力加減で、葉脈の写し取り方も変わります。

紙の下はどうなっているのか、そ～っと紙をめくる子どもたちの息を飲む瞬間や出来上がった作品を見て「わあ～！」っと笑顔になる様子が印象的でした。

4歳児 やま組

やま組は落ち葉を用いた活動でフロッタージュ(こすり出し)を楽しみました。

最初は落ち葉がないところを塗ったり、自分がどこに落ち葉を置いたのか分からなくなったりして、こすり出しができずにいました。しかし、木村先生と一緒に取り組む中で、子どもたちはどんどんコツをつかみ、できるようになったことが嬉しく、何度も繰り返し楽しんでいました。「またやりたい！」「今度は別の葉っぱでやってみる！」「イチョウはどうやって出てくるんだろう？」と好奇心にあふれ、さまざまな落ち葉を用いて違いを楽しんでいました。



「この色を使ってみるとどうなるかな？」「この色にしてみようかな～」と友達と相談しながら色を決めたり、「この葉っぱはここに置いてみよう！」と子どもたちなりにイメージに合わせて構成したりして、それが思い思いの作品を作っていました。

新しい教材のコンテパステルは普段の遊びで使っているクレヨンやサインペンとは違い、淡い色合いや柔らかい使い心地を楽しんでいました。



友達の作品を見合って声を掛け合いながら楽しんでいる子どももいれば、一人でじっくりと集中して取り組んでいる子どももいました。作品が完成すると同時に、手のひらも色が変わっていました。

楽しんで取り組んでいたので集中していて気付かなかったようです。作り終わった後に「わあ～！色が変わってる～！」と気が付いたようでした。